

シーズ名	伴侶動物の癌疾患に対する新規 BRM の開発	分類：11
所属 / 職 / 氏名	動物病院 / 教授 / 佐藤れえ子	
キーワード	癌、免疫賦活剤、BRM、プロポリス、ラクトフェリン、QOL	
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">どんな技術？</div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px; text-align: center;"> <p style="color: white; font-weight: bold; margin: 0;">一言アピール</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; flex-grow: 1;"> <p style="color: blue; font-weight: bold; margin: 0;">食品の中から新たな抗癌作用のある免疫賦活物質 (BRM) を見つけ出し、動物を使ってその効果を検定する技術、新たな小動物関連事業の開発・製品化に結びつく技術</p> </div> </div> </div> <p>【研究成果の内容】</p> <p>腫瘍性疾患（癌）は人と動物に共通する重篤な疾患であり、その治療法の研究が進められている。BRM(Biological Response Modifier：免疫賦活物質)は、癌疾患の治療や患者の QOL 改善に有効な物質である。BRM は、癌の治療においては宿主の免疫能を活性化することによって癌細胞の生体内での増殖を抑えるものであり、丸山ワクチンやキノコの成分であるレンチナンなどが知られている。これらは抗癌剤などの化学療法の代替療法として応用されている。BRM は多くは天然物の中から見出された成分であり、食品の一部からも特定の成分が BRM として開発応用されている。</p> <p>我々のこれまでの研究で、牛乳中の鉄結合性糖タンパクであるラクトフェリンが癌の犬や猫の免疫力の活性化と QOL の改善に有効であることと、ブラジル産プロポリスが乳癌のイヌの免疫能をあげることが明らかとなった。このように本シーズでは、プロポリスやラクトフェリンなどの食品や天然物の中に含まれる新たな BRM 開発を目的としており、担癌動物や腫瘍をもつ人の症状の緩和、進行の阻止などの効果をもつ物質の特定とその製品化に向けての基礎研究ならびに臨床応用を実施するものである。</p>		
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">何に使えるの？</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・癌患者の末期医療の QOL 維持のための BRM に</li> <li>・伴侶動物の癌(イヌやネコ)の補助療法剤として</li> <li>・付加価値の高いペットフード</li> <li>・サプリメント</li> </ul> </div>		
関連特許	なし	
関連資料等	<p>第 136～143 回日本獣医学会、第 2 回内科アカデミー発表、論文 4 編 (Am.J.Vet.Res.57,1996, Vet.Immun.Immunopath.105,2005 他)</p> <p>連絡先；020-8550 盛岡市上田 3-18-8 岩手大学農学部佐藤れえ子 (019-621-6227, <a href="mailto:reekos@iwate-u.ac.jp">reekos@iwate-u.ac.jp</a>)</p>	